



やはは 議会だよ



議会で決めたこと

キャンプ場の条例設置 2

一般質問 12 議員 町政を問う

来年度の税収見込みは 6

議会からのお知らせ

追跡 あの質問はどうなった 19

令和2年度・令和3年度 成人式
(関連記事…P20)

219

2022.1.21

岩手県
矢巾町議会

条 例 設 置

11月8日に開催された11月会議では、一般会計補正予算を審議し議決しました。
12月7日から16日までの10日間に開催された12月会議では、人事案件、条例改正や補正予算などを審議し議決しました。

11月会議

補正予算

主な内容

新型コロナウイルススワクチン3回目接種に係る業務委託料や障害者生活用具給付等事業の増額。

北高田保育園の園庭整備など、国からの補助金と不足の財源は財政調整基金から繰り入れています。

主な歳入

▽国庫補助金

3452万円

▽財政調整基金繰入金

28万円

主な歳出

▽日常生活用具給付等事業

243万円

▽私立保育園等

施設整備補助金

256万円

▽コロナワクチン

接種体制確保事業

2942万円

主な質疑

質問 3回目の接種は、これまでの反省を踏まえ、効率良

くやるための考えはあるか。

また、具体的な方策は。

回答 今後、全国の事例を参考にしながら、効率の良い受付方法を検討していきたい。

具体的な検討はこれからになるが、集団接種は「さわやかハウス」で行いたい。

質問 インフルエンザ予防接種も開始されるが、コロナワクチン接種も含め、高齢者にどのように説明しているか。

回答 新型コロナと他の予防接種については、2週間以上間隔をあけるよう国の基準が示されていることを踏まえ、説明に努めている。

質問 今後の飲食店等への支援は検討しているか。

回答 飲食店応援宣言のような案を作成している。

質問 日常生活用具給付等の事業費が増額となっているが、その理由と内容は。

回答 在宅療養等の支援用具購入の補助事業で、1件あたりの給付額や補助件数が増えたことによる。

質問 私立保育園等施設整備補助金の具体的な内容は。

回答 北高田こども園の園庭を囲むフェンスと防犯カメラの整備費に対し、国と町から一部補助を行う。



フェンス取り付け中の北高田こども園園庭 (高田2区)

キャンプ場の

12月会議

人事案件

教育委員の任命に同意

漆原 祥子よしこさん
(再任・矢次)

任期は令和3年12月23日から4年間となります。

条例

町営キャンプ場の設置・管理に関する条例

使用期間と使用料を新たに規定し、手続きや許可に関する必要な事項を定めます。

質問 短時間の利用や冬期間の利用についてはどのように考えているか。

回答 短時間の利用は無料で良いと考えている。

冬期間は管理が難しいことから閉鎖としている。
なお、令和5年度からは

指定管理を予定していることから検討する。

岩崎川河川公園の設置・管理に関する条例

新しく設置する祝咲喜公園の禁止行為や指定管理者の業務に関する規定を定め、公園内のマレットゴルフ場の使用料

等許可手続きの必要な事項を定めます。

町税条例の一部改正

国保税が令和6年度からの算定方法改正により、段階的に税率が変更されます。また、4月から未就学児の5割軽減措置を行います。

町営キャンプ場 (城内行政区)



質問 国保税額が高くなった方への対応は。

回答 福祉課や税務課の窓口相談で支援対応を行う。

質問 町の国保税は県内でも高いほうであることから、一般会計から繰入を行う考えは。

回答 国保事業は国保加入者のための制度で、一般会計からの繰入は好ましくない。保険事業が安定的・適切に運営できるよう法定外繰入は行わない。

町国保条例の一部改正

国保の出産育児一時金は、出産育児一時金と加算金で構成され総額42万円ですが、産科医療保障制度改正で加算金が4千円減額となることから出産育児一時金を増額し、現行の支給総額を維持します。

質問 令和2年度の出産一時金の対象となった件数は。

回答 令和2年度の対象は、8件となっている。

18歳以下に臨時特別給付金

補正予算は一般会計、3特別会計、2企業会計が提案され、審議は予算決算常任委員会に付託し可決されました。なお、一般会計の総額は約127億7,750万円となりました。

12月会議

補正予算

主な内容

コロナ感染症対策として、臨時特別給付事業補助金が歳入、歳出ともに増額します。

主な歳入

- ▽ふるさと納税寄付金 1億円
- ▽コロナワクチン接種 対策費負担金 1807万円
- ▽住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業 2億452万円
- ▽子育て世帯の臨時特別給付金事業 4億7101万円
- ▽財政調整基金繰入金 2347万円
- ▽ふるさと納税業務委託料 1635万円

主な歳出

- ▽コロナワクチン 接種体制確保事業 1472万円
- ▽生活困窮者 冬季特別対策事業 882万円
- ▽住民税非課税世帯等への臨時特別給付金事業 2億452万円
- ▽子育て世帯の臨時特別給付金事業 4億7101万円
- ▽やはば米生産農家 緊急支援事業 1876万円
- ▽子ども医療費助成事業 1552万円
- ▽活動交流センター 維持管理事業 375万円
- ▽文化財保護事業 222万円

質問 子ども医療費助成事業が増加した理由は。

回答 町では県事業の対象とならない世帯や18歳までが対象になったことから増額となった。

質問 活動交流センター維持管理事業費の内訳は

回答 やはばーく図書センターの窓ガラスに本の日焼け防止等のためのコーティングを行う。

質問 文化財保護事業の業務内容は。

回答 稲荷街道の松並木44本のうち松くい虫による被害を受けた1本を伐採し、残りは樹幹注入を実施する。



旧稲荷街道の松並木（煙山ひまわりパーク西側）

各議案の採決状況

令和3年定例会 11月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果			
		藤原信悦	吉田喜博	小笠原佳子	谷上知子	村松信一	廣田清美	高橋安子	水本淳一	赤丸秀雄	昆秀一	藤原梅昭	長谷川和男	川村よし子	小川文子		山崎道夫	廣田光男	高橋七郎
第84号	令和3年度一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

令和3年定例会 12月会議

第85号	教育委員会の委員の任命に関する同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同
第86号	岩手県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の減少及び規約の一部変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第87号	町営キャンプ場の設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第88号	岩崎川河川公園の設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第89号	税条例の一部改正(国民健康保険税)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○	○	可
第90号	国民健康保険条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第91号	水道事業給水条例及び公共下水道条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第92号	特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営基準を定める条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第93号	令和3年度一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第94号	令和3年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第95号	令和3年度介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第96号	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第97号	令和3年度水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第98号	令和3年度下水道事業会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
第99号	令和3年度一般会計補正予算(第8号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決 否=否決

注:藤原由巳議長は採決に加わらない。

ズバリ 町政を問う

一般質問

一般質問は議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針などの諸問題について質問を行い、町の姿勢を明らかにするものです。

12月会議では12人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。広報掲載の質疑の内容は、質問した議員が自ら原稿を書いたものです。

●村松 信一 議員 …………… P7

- ①令和4年度予算編成の基本的な考え方について
- ②第2期中町子ども・子育て支援事業計画について

●昆 秀一 議員 …………… P8

- ①障がいをお持ちの方々等への支援
- ②シティプロモーションと特産品の開発・ブランド化
- ③オーラルケア等の重要性

●赤丸 秀雄 議員 …………… P9

- ①GIGAスクール等運用の現状と課題について
- ②小学校学区見直しと新たな開発区域の将来を見据えたまちづくり
- ③地域防災の取組及び町内 Wi-Fi 導入の現状について

●藤原 信悦 議員 …………… P10

- ①「人生会議」の取組について
- ②産業振興について
- ③ICT教育の取組み状況について

●小笠原 佳子 議員 …………… P11

- ①子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨再開について
- ②子育て支援について
- ③デジタル田園都市構想と本町の政策の方向性について

●高橋 安子 議員 …………… P12

- ①矢幅駅舎の有効利活用について
- ②放課後キッズクラブについて
- ③男性の育児・介護休暇取得について

●藤原 梅昭 議員 …………… P13

- ①「脱炭素・SDGsの実現」について
- ②「定住人口・交流人口・関係人口の創出」について

●吉田 喜博 議員 …………… P14

- ①矢巾町国民保養センターの今後について
- ②矢巾町における有害野生鳥獣被害対策について
- ③食品ロスについて

●山崎 道夫 議員 …………… P15

- ①旧矢巾中学校敷地利活用方針について
- ②農家の生産意欲向上に向けた支援策について

●谷上 知子 議員 …………… P16

- ①上水道の維持と築川ダムの水利権の活用について
- ②読書活動について
- ③ゴミの減量と再資源化について

●川村 よし子 議員 …………… P17

- ①ごみ処理について
- ②加齢性難聴者の補聴器購入に対する支援制度の創設について

●小川 文子 議員 …………… P18

- ①新型コロナウイルス感染対策について
- ②小、中学校のトイレに生理用品の配置
- ③スクールバスの拡充について
- ④中学生の制服について
- ⑤住宅リフォーム制度について

※上記は、事前に提出された通告書の項目です。次ページからの内容は紙面の都合上、一部要約して掲載しています。詳しくは、議会事務局まで ☎ 019-611-2801



むらまつ のぶかつ
村松 信一議員
(矢巾明進会)

来年度の税収見込みは 例年と同等に維持できる見込み

質問 歳入について税の減収が考えられるが見通しは。

町長 コロナ感染拡大に伴う経済活動停滞により、町税や交付金の減収を想定している。下げ幅の範囲内にとどまり、例年とほぼ同等に維持できる見込みである。

質問 町の気候非常事態宣言として新エネルギーの導入、クリーンエネルギー自動車等新たに取組む計画は。

町長 新エネルギーについて脱炭素に向け可能性を調査し、行動計画に繋げたい。現在は資源のリサイクルも強力に取り組み、温室ガス排出削減に努める。

質問 コロナ感染症予防で延期した事業の今後の計画は。

町長 新たなオミクロン株により予断を許さない状況だが、制限の緩和により臨機応変に取り組む。

質問 定住・交流・関係人口の創出に向けた空き家の意向調査、用途精査の進行状況は。

町長 所有者や地域からの個別物件相談の詳細を調査している。売買意向の場合、所有者から利活用の聞き取り調査により、空き家バンクの登録を促している。

質問 町は国の成長戦略の中、何を重視し予算編成を行うか。

町長 グリーン・デジタル・地方活性化・子育ては、どれも重要であり継続性を念頭に将来に向けた持続可能な予算編成とする。

子育て環境の 支援策は 関係機関と連携を はかり対応

質問 乳児全戸訪問事業の

支援要望と対応は。

町長 生後4カ月の乳児家庭全てを訪問、育児の悩み相談・傾聴など不安解消に努める。必要に応じ関係機関と連携を図り支援していく。

質問 子どもが安全に通行できる道路交通環境の整備は。

町長 交通安全対策協議会で危険な13カ所の改善要望を県公安委員会に出している。路面標示を立体に見せるイメージランプ、車道と歩行帯を分けるブルーラインや、煙山小学校付近にライジングボラードによる進入抑制などを検討中である。



路面標示のイメージランプ (新田 太陽荘付近)

障がい者 真の自立とは 自己選択・決定で自立すること



こん しゅういち
昆 秀一議員
(一心会)



障がい者週間パネル展示コーナー（やはぱーく）

一般質問 町政を問う

質問 障がいをお持ちの方々等に対する真の意味での自立とは、どのようなことができるかと、理想と考え、そのための支援をどう考えて行っているのか。

町長 真の意味での自立については、障がいをお持ちの方が全てを一人で行い生活でき

ることが自立というのではない、困ったことや分からないことは相談し、必要な支援を受けながら、主体的な自己選択と自己決定により生活できることが理想であると捉えている。

そのために、ご本人や、ご家族の意見を聴き、その意見をできる限り尊重できるように、ご本人が自己選択と自己決定、その意思の表明につながるよう、相談体制の充実に努めている。

特産品の開発・ブランド化は

広く情報発信に努める

質問 特産品については、その開発や普及を目的に毎年予算を取っている。その特産品の開発・ブランド化の今後の考え方と進め方は。

町長 現在、食と健康のアンバサダーの方や町内外事業者と共に、山ぶどうを用いた商品開発を進めている。年度内

には商品発表を予定している。今後も、本町の特産品が県内外に広く認知されるよう、情報発信に努める。

各世代に対する口腔健康予防は

保健事業の中で健康意識を向上

質問 オーラルケアとは、虫歯や歯周病などを予防するために口の中を清掃し、清潔な状態を維持することである。各世代に対する口腔の健康維持のための予防意識の向上について、どのように取り組んでいるのか。

町長 各世代を対象とした保健事業の中で、口腔の健康維持・意識の向上に取り組んでいる。

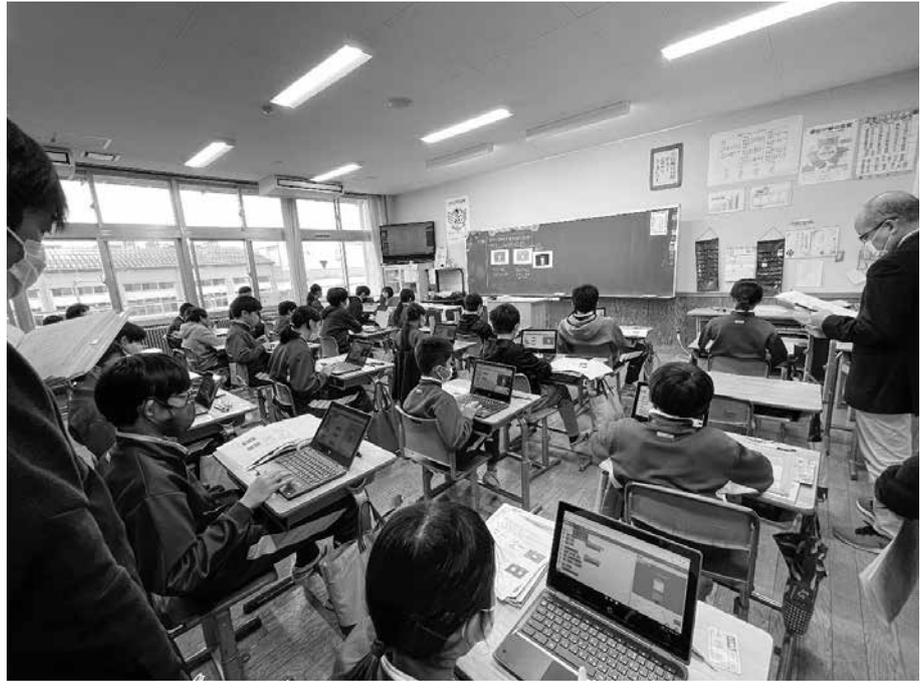
母子保健事業で、妊婦には母子手帳交付時に、子どもには集団健診時に、保健指導を実施している。

ほかにも、成人保健事業、高齢者保健事業など各歯科健診を行っている。



あかまる ひで お
赤丸 秀雄議員
(一心会)

ICT授業の実施状況は デジタル教科中心に活用



タブレット授業の様相 (矢巾東小学校)

質問 タブレット型端末が配備となり、デジタル授業が本格運用となった。小中学校の活用状況や利用時間は、**教育長** 従来教科書やデジタルドリルなどと併用し、活用している。平均利用は、毎日1時間以上である。

質問 他県でメールやチャット利用で誹謗中傷が問題化している。パスワードは個人ごとに設定した運用か。

教育長 メール等は利用規制を掛け、パスワードも個別設定しており問題の発生はない。

質問 ICTスキル向上に自宅持ち帰りやパソコンクラブ創設、自宅の利用環境調査を行う考えは、**教育長** パソコンクラブは各小学校にあるが、中学校への創設は現状では難しい。自宅の利用環境調査を再把握した上で、持ち帰りなどを検討したい。

学区の抜本的再編を望むが

令和4年度中に方針付ける

質問 小学校学区見直しは老朽化した校舎建て替え検討と合わせ、早急に行うべきと思うが、将来の展望・方針は、**町長** 次期総合計画に将来を

ジョンを掲げ取り組む。学区見直しは令和4年度中に、方針付ける予定である。

質問 来年度から3エリアの開発が始まるが、その動向は、**町長** 来年秋頃から開発工事が始まり、令和6年春ごろの早い入居を想定している。

町主導の地域防災訓練を 昨年度から実施

質問 防災意識の高揚は講習と避難訓練の定期実施が必要とされるが、地域防災組織への指導と支援をどう考えるか。**町長** 昨年から地域防災組織に巡回指導と避難訓練を実施している。

今後も町民の防災意識高揚に努める。

質問 避難所設置時に間仕切り壁設置やペット同伴に配慮した計画となっているか。**町長** 全会場ではないが、配慮した計画を策定している。

「人生会議」の普及啓発は えんじょいセンター等の活動で



ふじわら しんえつ
藤原 信悦議員
(町民の会)

質問 厚生労働省が提唱する「人生会議」とは、自らが望む人生の最終段階の医療・ケアについて、家族など介護従事者を含めた医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合い、共有することである。

町は普及啓発にどのように取り組んでいるのか。

町長 医療機関職員や介護従事者、行政職員を対象にアドバンス・ケア・プランニング研修（人生会議）を実施。また、利用者にはケアマネージャーを通じて県医師会が作成した「わたしの生きるノート」で周知している。

今後は、町民向けにえんじょいセンター等での活動を通じて普及啓発を図る。



人生会議 わたしの生きるノート

質問 タブレット操作未習熟による授業進度への影響は。

教育長 児童生徒、教師とも操作に不慣れなところはあったが、授業に遅れない。

質問 デジタルドリルやデジタル教科書の活用方法は、教科によって違うのか。

教育長 デジタルドリルは主に5教科で学習の振り返りとして活用、デジタル教科書はイメージしづらいものや、動的・視覚的に効果がある場面で活用している。

質問 ICT教育の目指す目標は

情報活用能力を身につける

民間知見活用の産業振興は

成功事例共有の仕組みづくりを

質問 現在の産業振興の取り組み状況は。

町長 経営者や金融・教育機関の委員で構成する円卓会議で、事業者の現状や課題を把握し、今後の具体的な事業の取り組みを協議している。

また、事業者の学びの場を開設し、学生・町民をまき込み、地元企業の振興に取り組んでいる。

質問 「ビズモデル」のような民間の知見を活用する考えはあるか。

町長 民間の知見も活用し、勉強会、事業者同士の情報交換やビジネスマッチングの場を設け、成功事例を共有できる仕組みづくりをする。



おがさわら よしこ
小笠原 佳子 議員
(公明党)

子宮頸がんワクチン接種は 対象者に個別通知

質問 子宮頸がん予防ワクチンの積極的勧奨再開後の周知対象や方法は、また、未接種者への救済は。

町長 標準的な接種期間の中学1年から高校1年まで個別通知を行う。

また接種機会を逃した方にはキヤッチアップ制度が具体化した時点で無料で接種する。

祖父母手帳発行の考えは

導入を検討する

質問 核家族化、地域のつながりが希薄化しているが、祖父母手帳の発行の考えは。また、多胎妊娠の取り組み支援の状況は。

町長 祖父母手帳は現在の育児方法を学べるものであり、祖父母と良好な関係を築くことから導入を検討する。

多胎妊婦の無料検診回数は、増やす事を検討する。

12月から産後ケア事業として、ヘルパーによる家事支



乳児対象の「ぼかぼか広場」(さわやかハウス)

援を行う。

また、町内のホテルを活用したデイサービス型は実施に向け調整中である。

質問 保育料が無償化されたが在宅育児支援に恩恵がない。支援給付新設の考えは。

町長 在宅の育児、医療、介護など全世代に対する在宅支援の在り方を検討したい。

デジタル田園都市構想は

循環経済の
推進をはかる

質問 デジタル田園都市国家構想の当町での取り組みは。

町長 スマート農業は、肥料散布、防除作業等にドローンを活用。畜産分野では分娩監視装置等の事業支援を行う。

今後、蓄電池の活用・普及施策は、町新エネルギービジョンにより検討する。

リサイクル事業は循環経済の重要な役割を果たす専門的な知識や技術が必要なことから、産学官連携を図る。

また、民間主導によるビジネスモデルの取り組みを検討する。

健康寿命の延伸は岩手医科大学との各種協定に基づき、スマートヘルスケアの導入を検討する。

※デジタル田園都市国家構想：地域の暮らしや社会、教育や研究開発、産業や経済をデジタル技術の活用により、地域を活性化し持続可能な環境、社会、経済を目指すものである。

駅中央ホールの活用を 情報発信の構築を検討中



たかはし やすこ
高橋 安子議員
(町民の会)

質問 交流人口が増加している本町には現在、案内所がなく駅前ですべての情報が届かないという話を聞く。

年数回イベントで使用している多目的ホールに、観光案内や特産品販売所、喫茶等を設置する考えは。

町長 駅の乗降客及び町民が交流できる、情報発信と案内所の機能を持たせたスポットとして計画している。

イベントや特産品の情報をモニターを使い映像と音によるPRを行っていく。

質問 「音楽のまち」にふさわしい、中高校生の日本一の合唱紹介や、ひまわりパーク等、レンタル自転車を活用しての観光案内を実施しては。



情報発信の拠点として活用が待たれる矢幅駅

町長 駅は町の玄関口であることから、賑わいと臨場感のある新たなスポットの創設を目指し、モニターを有効に活用してPRに努める。
レンタル自転車は、煙山ひまわりパークへの利用者もあることから、貸し出し場所の増設も検討し、観光振興につなげる。

一般質問 町政を問う

煙山キッズクラブに 手洗い場を

状況を見極め
検討する

質問 煙山キッズクラブは、プレハブを利用しており、水道やトイレが無い状況である。

整備の計画はあるか。

教育長 整備予定は無いが、状況を踏まえ学校と相談する。手指消毒を徹底し、コロナ等感染症防止に努める。

質問 「キッズクラブ」を開設してから3年経過したが、利用状況は。

教育長 1日当たりの利用者数は煙山45名、矢中東16名で、そのうち午後7時までの利用は平均3〜4名である。

男性職員の 育児休暇は

育児・介護休暇
各1名取得

質問 本町職員の取得実績は。

町長 本年度育児・介護休暇とも、各1名が取得した。

質問 今後職員や企業への指導をどのように実施予定か。

町長 職員には制度の周知を、町内認定企業には、ホームページに優良企業として紹介し優秀な人材定着に寄与したい。



ふじわら うめあき
藤原 梅昭議員
(一心会)

「SDGsの町やはば」宣言を 官民連携で推進に努める

質問 SDGsの取り組みは、大企業に比べ中小企業は低い。

「SDGsの町やはば」宣言をし、一人の百歩より百人の一步の精神で、官民一体で進めるべきと思うが。

町長 官民連携して取り組みを発信していくことが効果的である。

矢中町SDGsプラットフォームを、年度末目途に立ち上げて、連携しての取り組みを加速していきたい。

質問 不動小学校において「地球温暖化と海洋問題を考える」学習を行ったが、町内小中学校でのSDGs取り組み状況は。
教育長 小学校では社会科の授業で行っている。



職員と議員とのSDGs研修模様(町公民館)

矢中北中学校では、生徒会活動の中でSDGs認知度アンケートを実施し、17の目標の中からクラスごとに設定し、取り組んでいる。
矢中中学校はSDGsの視点を通して町の問題点や夢の提言について「新春、町長と語る会」を開催予定である。

質問 SDGsには17の目標に、それぞれキャッチフレーズとアイコンが定められている。共通言語として町中どこでも目に触れ、身近に感じてもらうことが大事では。

町長 その提言通りであり、どこでも目に触れるよう推進に努める。

定住人口等創出は 誘致活動を推進

質問 定住人口の創出は住み続けるための雇用が必要では。

町長 首都圏などでトップセーブルスを行い、誘致活動の推進を図る。

来年度、盛岡広域圏に協議会を設置し、企業誘致活動で雇用確保に努めたい。

質問 交流人口の創出には、城内山の整備や保養センター、キャンプ場も含めた周辺の観光構想が必要と思うが。

町長 観光面においては、10月から岩手県立大学と連携し、矢中温泉郷の活性化事業をスタートした。

質問 関係人口の創出に、年々増加している「ふるさと納税」に協力頂いている方々を通して、友人・知人に更なるアプローチをお願いしては。

町長 納税者と交流を深めるため、イベント参加などの体験型返礼品の開拓に努める。

有害鳥獣駆除の従事者支援は 狩猟免許取得経費などを助成



よしだのぶひろ
吉田喜博議員
(町民の会)



イノシシ捕獲用わな (雫石町視察時)

質問 有害鳥獣による農作物被害は本町においても深刻化しており、対策として、わなや狩猟が有効と考えられる。有害鳥獣の駆除には、狩猟免許の取得や講習会等への参加が必要であり、免許を取得してからも維持更新費用が多

額にかかる。

これに対し本町が助成する考えはないか。

町長 駆除は町猟友会に委託しているが、会員の減少や高齢化が課題である。

若い世代へ技術継承を行うことが急務であり、有害鳥獣駆除の担い手を育成するため、狩猟免許に係る費用の一部を助成するなど検討している。

質問 駆除した場合、解体する施設や処分地の確保が必要ではないか。

町長 捕獲後は、委託先の猟友会が埋設等により処分している。

猟友会からは、捕獲者の負担軽減のために解体処理場整備の要望がある。

関係機関との調整を図り、どのような施設が必要か猟友会と協議を行っている。

質問 町総合射撃場に、上下水道を完備しては。

町長 上下水道の整備は、構造上難しい。水洗トイレは、研修施設を利用して欲しい。

保養センターの 運営状況は

コロナ禍の影響で
厳しい

質問 矢巾町国民保養センターの指定管理料が、令和2年度補正予算では増額となっているが、今年度の見込みは。

町長 コロナ禍による利用者減少に伴い売り上げも減少しており、当期純利益は9月末時点で、780万円ほどマイナスとなっている。

質問 観光開発株式会社管理を行っているが、町はその運営に対しどのような指導を行っているのか。

町長 さまざまな要因により経営が悪化し、補正予算で対応してきた。11月から支配人を置き、運営体制の見直しを実施している。

今後は、利用客のニーズに合わせたサービスの向上と施設利用料金の見直しを行いながら運営改善を進める。



やまざき みち お
山崎 道夫議員
(一心会)

矢中跡地活用は答申尊重を 基本方針を丁寧に説明

質問 旧矢中中学校跡地の活用策について、敷地利用基本方針検討委員会の答申は、「次世代に継ぐ夢のある町有地として存続するのが望ましい」との基本方針であった。

庁内検討委員会は「売却するのが最善の策」との方針であるが、答申内容を尊重し時間をかけて検討するべきではないか。

町長 答申内容を再確認しながら検討したが、説明が十分であったものと真摯に受け止めている。

今後、町民懇談会および議会全員協議会の場で、基本方針について丁寧に説明をして、責任を果たしていきたいと考える。



2年連続米価の下落が農家を直撃

質問 町の各施設の建て替えは、何年頃を想定し、事業費の試算はどうか考えるか。

町長 現在、町公共施設管理計画および第8次総合計画に反映させるべく、施設の建て替えの時期および概算事業費の試算を始めている。

質問 学校施設の統合や建て替えの時期は、また建設費用はどの程度か。

教育長 学校施設の建て替え等について、現在、通学区域審議会で検討している。今後、答申をいただき建設の決定や工事等がなされたら

して、開校まで8年間ほど必要と考えている。

また、整備費用について、近隣市町の事例では、1学年3クラス規模の小学校の場合で、30数億円となっている。

米農家への支援は 支援策を検討中

質問 2年続いた米価の下落により、農家の経営が直撃を受けている。

生産意欲を減退させないためにも、肥料・農薬の購入補助や検査料など補助金で支援すべきと考えるか。

町長 生産意欲の支えのため、現在町として支援策を検討している。

また、セーフティネットへの加入や高収益作物への転換など、将来の営農意欲向上につながる支援についても検討を行っている。

▼12月16日、追加議案の可決
給付内容は1袋(30kg)当たりうるち米100円・もち米33円

築川ダムの水利使用期間は 10年ごとに更新可能



やがみ ともこ
谷上 知子議員
(令和やはば)



本町が水利権を有する築川ダム

一般質問 町政を問う

質問 おいしいと感じる町水道の味と水質の検査は。

町長 ミネラル分が多い中軟水であり、おいしい水であると言われている。

水質検査は水道法で義務づけられ、色・濁り・残留塩素濃度の検査を毎日行っている。

質問 宅地開発が見込まれているが、供給水量は十分か。

町長 第7次総合計画に合わせた水道施設を計画している。宅地開発や企業誘致においても対応可能である。

質問 築川ダム水利使用期間と使用できる水量は。

また、防災や産業利用は可能か。

町長 期間は10年となっているが更新は可能。日量は、700立法メートルの使用許可を得ている。

町水道は東西連絡管を整備しており、災害で給水量が増加した場合でも対応可能である。なお、現時点では産業振興の活用はない。

ゴミの減量と再資源化を

分別を推進し経費を削減

質問 燃えるゴミは減っているか。

町長 コロナの影響で家庭ごみが増加になったと推測され、微増の状況である。

質問 資源ゴミの収集に掛かる費用状況は。

町長 集積所の資源ゴミの収集経費は上昇傾向にある。地区の資源回収所や民間の店頭回収所に出していただき、経費を削減したい。

読書の推進は

電子図書等を活用

質問 やはばーく図書センターでは、遠距離地区や高齢者への図書サービスをどのように考えているか。

町長 遠距離の地区へは電子図書の利用を進めている。図書センターでは高齢向け朗読会・お話活動の参加者が増加している。

質問 小学校の長期休業中の学校図書室を、隣接する児童館に開放してはどうか。

教育長 学校図書室を長期休業中にも利用することは可能である。

児童館の指定管理者と協議して進めたい。



かわむら
川村 よし子議員
(日本共産党)

補聴器購入に助成を 国・県に公的制度を要望

質問 補聴器は片耳数万円から数十万円と高価で、低所得で購入できない高齢難聴者が多いが、購入支援制度の創設ができないか。

町長 高価であることは認識している。

令和2年度にフレイル予防として公的負担や介護保険制度により補聴器が購入できるよう国と県に要望している。

質問 難聴の改善は、補聴器を軽度から使うことが効果的と言われ、WHOでは40デシベルから装着奨励しているが本町の考えは。

町長 WHOでは、補聴器の装着を30デシベルから奨励している。現在、町では70デシベ

ル以上の難聴障害手帳所持者54名に助成している。

質問 軽度難聴者にも認知症予防支援として、町独自で購入助成できないか。

町長 認知症については全国的なことなので独自の補聴器助成の制度は考えていない。



リサイクル用収集箱 (役場南側入り口)

県央ごみ処理場 建設は

候補地は
盛岡インター付近

質問 ごみ処理施設広域化計画の推進協議会は、盛岡インターチェンジ付近を候補地

として決めたがその要因は。

町長 協議会では各候補地で住民説明会を開催してきたほか、盛岡広域8市町に冊子の配布など、ごみ広域化に関する理解が図られるよう努力してきた。

4カ所の候補地の中で、整備費が低く廃棄物エネルギーを利活用し地域振興に期待する意見があり、選定された。

質問 町では積極的にごみ減量化に取り組んでいる。

今後人口減少を迎える市町もあり、見直しが必要では。

町長 新しい施設については、リサイクルを強化し、排出量を減らし極力住民負担が軽減されるよう努める。

質問 盛岡・紫波地区環境施設組合の今後や、新施設までのごみ運搬経路及び経費等の町民負担はどうか。

町長 場所候補地が決定されただけで、具体策はこれから検討することになっている。

新施設は計画より2年ほど遅れている。

女子の制服にスラックスを 矢巾北中も要望により検討



おがわ ふみこ
小川 文子議員
(日本共産党)

質問 ジェンダー平等と冬期の健康上から中学生女子の制服にスラックスを認めては。

教育長 矢巾中学校では今年度から希望する女子生徒へのスラックス選択制を導入しており、矢巾北中学校でも要望があった際には検討する。生徒や関係者で協議しながら柔軟に対応していく。

**新型コロナ
感染対策は**

定期的な抗原検査

質問 3回目のワクチン接種計画の概要は。

町長 医療従事者は12月から実施しており、その後高齢者



寄付を募っているサニタリー用品

質問 感染予防として、抗原検査の定期的なスクリーニング検査を実施してはどうか。

から順に実施する。なお、後期高齢者には日時・場所を指定したハガキを令和4年2月に郵送する。

町長 教育・高齢者施設等で2週間に1回を目安に10月末時点で1421回実施した。

質問 町独自の事業者支援は。

町長 家賃支援給付金と全業種対象の事業継続支援金の給付事業がある。

さらに、12月にはキャッシュレス決裁によるポイント還元事業を商工会との連携で実施する。

現段階では難しい

質問 小学生に対する冬期間のスクールバスを中学生にも拡充できないか。

教育長 対象者・距離など広範囲に及ぶことから中学生は難しい。

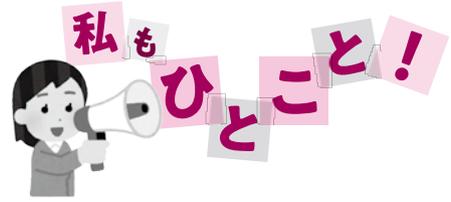
**トイレに
生理用品を**

保健室に常備済み

質問 小中学校トイレに生理用品の配置を。また、女性団体に寄付を呼びかけては。

町長 保健室に常備し必要な児童に配布している。

寄付については町更生保護女性の会に周知しているが、他団体にも呼びかける。



まじめな姿勢に感動



まつだて あきこ
松館 明子さん(藤沢)
(写真撮影のためマスクを外していただきました)

知人からお声をかけていただき、初めて議会を傍聴させていただきました。共にボランティア活動をしている仲間でもありましたので、興味深く親しみを持って聞く事が出来ました。

西口の活用など……。質問に答弁する町長をはじめ、各担当の方々のまじめな姿勢、皆矢巾町をより良くするため考えを出し合っている事に感動しました。今後もコロナに負けないように、議員の皆さん、町長はじめ職員の方皆さん、矢巾町のため頑張ってください。応援しております。そして、こういう機会を作ってくださいました知人に心から感謝しております。

追跡

あの質問はどうなった

過去に質問したことがどうなっているのか調査しました

矢巾移動スーパー運用開始 「買い物弱者」への支援は

(令和3年6月会議)

質問 移動スーパー巡回先の半分が中心住宅地であるが、近くに小売店がない周辺地域の高齢者支援は。

個別注文による 販売にも努める

回答 通いの場サロン等に合わせ公民館を訪問している。買い物が困難な方への支援が重要であり、個別注文に対応できるように努力していく。

現在は

「矢巾移動スーパー」

町内の公民館などを巡回



さらに

ご自宅まで 個別に訪問販売を開始

町とサン・フレッシュ都南が実施する「矢巾移動スーパー」では、訪問販売を始めました。

希望する方、興味がある方はお気軽にお問い合わせください。

【お申込み・お問い合わせ】
株JAシンセラ直売課 電話 019-639-2361
(広報やはば 12月号より抜粋)





ヨガ教室で指導する筆者（藤澤自治会館）

まちの 人



地域おこし協力隊

新田 真未 さん(矢巾3区)

健康を届けるために

地域おこし協力隊に着任したのは、社会人1年目の年でした。右も左も、前も後ろもわからないような状態で不安でいっぱいでしたが、矢巾町の皆さんが温かく迎えてくださったので、不安な気持ちはあっという間に消えていきました。

私は東京で生まれ育ち、大学への進学を機に岩手に来ました。幼い頃から体を動かすことが大好きで、大学、大学院ではスポーツを学び、ずっとスポーツ中心の人生を歩んできたのですが、矢巾町が「スポーツのまち やはば」を宣言しているのと知り、今まで学んできたことや自分の競技経験を生かして、皆さんの健康づくりをお手伝いできたらと思いい協力隊員になりました。

現在の活動拠点は、岩手医科大学附属病院の敷地内にある「メディカルフィットネス

ウェルベース矢巾」です。この

名前は、「健康」を意味するWellnessと「基地」を意味するbaseを組み合わせて作られたもので、矢巾町にかかわるすべての人に本当の健康を届けるための「健康発信基地」になる、という思いが込められています。楽しく運動することで、人と人とのつながりの輪が広がっていくと実感する日々で、今後そんな機会を作っていきたいです。

3年間を振り返るとあっという間で、一瞬で過ぎ去ってしまいました。残りの任期もわずかなとなりましたが、皆さんの健康づくりの一助となれるよう最後まで頑張っています。

何にも代えられない貴重な経験をさせていただいた3年間、感謝の気持ちでいっぱい입니다。本当にありがとうございました。

〇表紙に寄せて〇

令和2年度と令和3年度の成人式が12月26日と1月9日に行われ、会場は久しぶりの再会に新成人の笑顔であふれていました。



あしがき

12月会議一般質問には、12人が登壇し、事業推進を深掘りした質問が多くありました。議会だより読者の意見聴取では、一番読む記事に一般質問項目を上げる方が多かったです。編集ではその点に留意して、読みやすくしました。今後も、読者目線の作成に努めます。

編集委員 赤丸 秀雄

発行・編集責任者

議長 藤原 由巳

編集委員

- 委員長 水本 淳一
- 副委員長 川村よし子
- 委員 谷上 知子
- 高橋 安子
- 赤丸 秀雄



過去のやはば議会だよりは右のQRコードからご覧いただけます

